

## IT化では、せめて現代のスタンダードに！

IT化は、急速に現代社会に浸透し、私たちの生活を変えています。しかし、行政では、そのスタンダードからは首をかしげたくなるほど、遅れているものが多々あります。「さいたま市情報化計画」「さいたま市行政改革大綱」などには、これらの立ち後れを埋め、その先に進もうとする諸計画が盛り込まれていますが、この計画が5年がかりで実施される頃には、世のITはもっと先に進んでしまっているだろうと思わせるものがあります。

例えば以下のようなことは、現代の常識では、今できていないことの方が不自然だと思われようと考えます。

市税や下水道料金などを、自宅PCからネット決済を利用して支払う。(ITではないが、せめてコンビニでの支払いができるようにすべき。) 公共施設の空き状況をネットで確認し、かつ、利用申し込みをオンラインで行う。市の条例や規則をネットで調べられる。(※1) 各種審議会・検討委員会等の議事録や市議会の議事録などが、会議終了後、2週間以内でHPに掲載される。(※2) 議会をネット中継し、かつその映像データをライブラリー化して見られるようにする。

※1については、「行政改革大綱」の具体策の中に盛り込まれており、H15年度から実施の方向ですが、H13年から準備を始め、実施まで2年もかからなければいけないものとは思えません。

※2についても、H15年から実施の計画とのことですが、すぐにでも導入すべきものと考えます。また、他の項目に関しては、「さいたま市情報化計画」に盛り込まれてはいますが、これらが、どれぐらい着実に計画通り整備されるのか、市民は見守っていく必要があると思います。